

2月の予定

- 3日 対面式
- 5日 九州電力様ワンコイン贈呈式
- 08日 農業機械講習(~9日)
- 9日 オイスカ支援チャリティゴルフコンペ
- 12日 脇山小お別れ会
〃 八江農芸外部研修(~19日)
- 12・19日 技能検定(技能実習生)
- 15日 脇山送迎会
- 19日 世界の絵本の読み聞かせ
〃 八江農芸外部研修(~27日)
- 22日 唐津南高校交流会
- 27日 脇山小発表

ご協力ありがとうございます

【1月の寄贈者】(敬称略)

ダポット ナディア、馬場雄治、進藤徳博、中村道成、山口泰広
土岐沙也香

【1月の新入会員】(敬称略)

NPO法人 みらいあん

令和6年度 修了式・懇親会

いつも、ご支援ありがとうございます。所定の研修を終え帰国する
研修生達を会場で激励いただければ幸いです。

日時 令和7年3月8日(土)

10:30~13:30

会費 3,000円



ワンヘルス勉強会

1月14日、オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟の野原隆会長がセンターに
来ていただき、ワンヘルス運動の勉強会を開催していただきました。世界獣医師会及
び福岡県も推進している環境、健康をテーマとした活動で、研修生全員参加での勉強
会を開催。具体的な内容を説明頂き、研修生が帰国後もオイスカ活動とともにワン
ヘルスの理念も各国で広めてもらいたいものです。研修生からも活発な質問がでて、関
心の深さを感じました。お忙しいところ野原会長ありがとうございました。(廣瀬)



体験農園だより

早くも1月末を迎えました。今年は例年に比べると暖かい冬だと感じます。お野菜も、一部を
除いてしっかりご収穫いただけています。野菜の高騰が続く中、少しでも参加者のご家庭の
力になれてうれしく感じております。これから収穫後のブロッコリーでは脇芽が収穫できま
すので、それらも美味しくお召し上がりいただきたいと思います。2月は秋冬作後期最後の月で
すが、早速、新規のお申込と再開のお申し込みをいただいております。来年度も多くの方に
ご利用いただけるように頑張りたいと思います！本年も体験農園をよろしくお願いいたします！



農場の研修風景

昨日、生育が不十分で収穫が出来ずに放置されていたハウレンソウの畑で、ちょっと
大きくなっていったところの葉っぱを取って食べてみました。そしたらなんと砂糖のように
甘いではありませんか。以前にもこのような経験はしたことがあったので、冬のハウレ
ンソウは甘くなることは知っていましたが、こんなにも甘くなるんだとちょっと驚いてしま
いました。そして、すぐに一緒に収穫をしていた数人の研修生を呼んで、「このハウレ
ンソウを食べてみて」と食べさせてみると、みんな目を丸くして「甘い」と驚いていました。
今年の冬は例年よりも寒く、この寒さに耐えるようにハウレンソウは体内の糖度を上げて、
自分の身が凍らないように自己防衛をはかっていくのです。「作物の力は偉大であ
る」と改めて感じた金曜日の午後でした。(豊田)



まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部

福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

2025年2月号



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

福岡リバティライオンズクラブより贈呈式

1月25日(土)、福岡リバティライオンズクラブの1000回目の例会が西日本
研修センターで開催されました。当クラブは1982年の発足以来オイスカ活
動に多大なご支援をいただいております。特に海外研修生を博多の伝統的お
祭り「博多祇園山笠」や日本の国技「大相撲九州場所」へ毎年ご招待をい
ただいております。この度の例会を記念して、掃除機1台とワンコインサポ
ータープログラムの支援金を西日本研修センターへ贈呈いただきました。
永年のご支援誠にありがとうございます。(満川)



ほんげんきょう



1月12日(日) 脇山中央公園にて行われた「ほんげんきょう(どんど焼き)」に
参加いたしました。今年度は前日の組み立てにも加わらせていただきました。地
域の方から、研修生が軽々と登って組み立ててくれたので大変助かったとお礼
の言葉をいただきました。当日は雪の予報でしたが、なんとか若干の小雨で済
み、行うことができました。研修生たちは大きな火で暖を取りながら、無病息災
を祈りました。近年だと街中ではなかなかできない大きなほんげんきょうで、貴
重な経験ができたと思います。(飯川)

福岡教育大学附属中学校交流会

1月8日(水)と1月21日(火)の2回に分けて、福岡市内にある福岡教育大学附属中学校の1年生を対象とした、
交流会に参加してきました。その学校は1年生が3クラスあり、8日に2クラス、21日に1クラスそれぞれ同じ内容で
交流会が行われ、交流会のテーマが「太平洋地域の国々の学習」ということで、センターからパプアニューギニアの
ベニー、ウェスリ、フィジーのカロが参加して、事前に準備されたスケジュールの中で、国の紹介や生徒からの質問
に答えるような内容で交流会が行われました。生徒からの質問の中には、異常気象における様々な問題について
の質問や、その国の主食や文化についてなど、社会科の地理で学んだ
中でうかんだ様々な疑問について、研修生に一生懸命質問をしていま
した。現在の若者は、インターネットから様々な情報を入手し何でも簡単に
知識を得ることが出来るが、今回の交流会の様に、実際に研修生から
生の声を聞いたり、一緒にダンスを踊ったりして交流を深める機会は、
彼らにとって非常に貴重で有意義な時間であると感じました。中学校
との交流会の機会が殆どない状況の中で、今後もこの事業が継続さ
れることを期待します。(豊田)



広島県産業視察

1月28日(火)～29日(水)の2日間にかけて、広島県への産業視察に行ってきました。ちょうどその日の前日から雪が降りだし、道中の山口県内などにも積雪の可能性があったために出発時間を2時間程度遅らせて出発しました。心配された雪も福岡市を過ぎると雪は止んで、広島まで順調に移動することが出来ました。1日目の視察先は、最初に尾道市の因島にある万田発酵の工場見学と「発酵パーク」という試験圃場の見学を行い、その後1時間ほど移動して「オガワエコノス」という会社が経営しているリサイクル工場の見学を行いました。どちらも研修生に興味のある農業と環境の分野ということで、ガイドの方の説明に熱心に耳を傾け、質問もたくさんしていました。そして2日目には広島市内方面に移動し、まずは呉市にある「大和ミュージアム」の見学、そして宮島に移動して厳島神社の見学に行きました。「大和ミュージアム」では、入館してまずは10分1の大きさの戦艦大和の模型が私たちを迎えてくれて、その後館内を移動すると、日本における明治維新前の歴史から戦後にかけてのまさに動乱の時代の中で、西欧列強に立ち向かうべく軍事技術の開発や軍艦、ゼロ戦などの製造と戦争の歴史が詳細に展示されており、その中で「戦艦大和」が誕生した経緯と当時かかわった技術士の思いなどが伝わってきました。そして、最終地の宮島では、フェリーに乗って宮島に渡り、ちょうど到着した時が引き潮で有名な海に浮かぶ鳥居まで歩いていくことが出来、そこで研修生は記念撮影をたくさんしました。その後、厳島神社の見学やお土産屋さんを見てまわったり、楽しい時間を過ごし、大満足で広島を後にしました。2日間という短い時間でしたが、見学先が非常に充実した内容で多くの学びがあり、研修生にとっては帰国後の活動に大いに参考になった事と思われまます。(豊田)



そば打ち体験

1月23日(木)に、「福岡そばの会」のみなさんからの協力で、研修生のためにそば打ち体験をさせていただきました。今回が2回目となるそば打ち体験ですが、今回使用したそば粉は去年の夏から秋にかけて、そばの会の皆さんと一緒に育てたそばの実から取ったそば粉を使用しているために、出来上がったそばの味は格別なものでした。そば打ちは見ている以上に難しく、何度参加してもすぐに出来るようなものではありませんが、そばを打ちながら会話ははずみ、楽しいひと時をお互いに過ごすことが出来たと思います。2025年度も是非一緒にそば作り交流が出来たら研修生も喜ぶと思います。(豊田)



黒松の間伐と防風柵解体ボランティア

東日本大震災による津波で被害を受けた宮城県名取市の地元の方々とオイスカで立ち上げた海岸林約100haを再生するための「海岸林再生プロジェクト」で植樹されたクロマツの管理で、1月24日～26日で当センターから STAFF のアルネルさん・ジェリミーさんが参加。ジェリミーさんは「私は、宮城県は初めてです。今回、私達は、植樹した苗木を風から守るための防風柵を取り外し、4年～5年の木の間伐しました。最初は、作業が分からず何をしたら良いか分からなかったけど、楽しかった。とても良い経験になり、機会があったらまた行きたいと思う」と身体いっぱいのジェスチャーで語ってくれました。(浦上)



会員様紹介 株式会社 九電工 様 (法人会員)

◆オイスカへの入会のきっかけ

本発の国際 NGO として、長年に渡る農村開発の実践を通じた人材育成や環境 保全活動に感銘を受けたのをきっかけに 1975年に入会させていただきました。昨年、公益財団法人オイスカ様より、節目の50年を迎えたということで、特別功労賞をいただきました。

◆オイスカへのメッセージ

海外実習生の方と実際にお話いただく機会もあり、そのひたむきな姿勢、笑顔に我々も勇気を与えて頂いております。当社としても、様々なイベントなど、今後とも積極的に参加させていただき、オイスカの目指す世界の実現ため、今後とも微力ながらご支援させていただきたい所存です。

◆会社紹介

当社は 1944 年 12 月、九州の電気工事関連会社 14 社が統合し、現在(九電工)の前身である「九州電気工事株式会社」として誕生し、2024 年の 12 月に創立 80 周年を迎えました。企業理念である「快適な環境づくりを通して社会に貢献します」「技術力で未来に挑戦し、新しい価値を創造します」「人をいかし、人を育てる人間尊重の企業をめざします」を柱に、皆さまの日常生活を幅広く支える総合設備業として、社会的使命を果たすと同時に、地域社会と共に発展し続ける企業であることを経営の基本としています。また、2044 年に創立 100 周年を迎える当社グループは、2025 年 10 月に新社名として新たにスタートを切る予定です。引き続き、持続可能な社会の実現を目指して、邁進してまいります。今後とも、より一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



オイスカ西日本研修センター様より特別功労賞をいただきました

2025年新研修生入国

1月30日に東ティモール・インド、31日にカンボジア・マレーシア2名・インドネシア・スリランカ2名・モンゴル、2月1日にパプアニューギニア・フィジー。合わせて11名が入国・入所しました！(チベット研修生は2月13日入国予定)ほとんどの研修生がはじめての飛行機に乗り、寒い寒い日本へやってきました。不安と期待で胸いっぱいだと思います。表情はまだまだ緊張していますが、先輩研修生の存在で少しずつ笑顔がこぼれ、緊張もほどけていくことでしょう。どんな個性が表出してくるか楽しみです。引き続き、応援よろしくお願いいたします。(立石考子)



鹿本農業高校交流会

1月9日(木) 熊本県立鹿本農業高校にて2年生との交流会が行われました。参加した研修生はクラウディア(インドネシア)、チェンゲル(モンゴル)、リン(ミャンマー)、ベニー(PNG)の4名です。鹿本農業高校での交流会は初めてでしたが、皆様、真面目に研修生の話を聞いて、明るく活発にいろいろな質問を投げかけられていました。研修生たちも交流が楽しかった、また行きたいと嬉しそうでした。また最後には学生の皆様が育てられたお米とシクラメンをいただきました。機会があれば、次はセンターにもお越しいただき、より多くの研修生と交流を楽しんでいただけたらと思います😊(飯川)

